

アルプス山岳郷 代表理事 より

長かったコロナ禍が過ぎ去ろうとしている状況になって参りましたが、これからの世の中はどうなっていくのでしょうか。

今迄の旅という形態を考えてみますと、余った時間に、余ったお金で旅をしていたのではないのでしょうか。また日常ではないものを求めて出かけてもいました。

それではこれからの旅は？

もしかしたら、日常の延長線上にあり、今までの旅の動機の一つでもあった「自分の成長のために」「新しい自分を見発するために」「健康であるために」というようなことを求めて、日常に必要な旅になっていくのではないのかなと思います。

このような旅の形態になった時に私達の地域は、その受け入れ環境は特に優れているのではないかと思います。成長するために、新しいものを発見するために、身体に良いために、その答えは「自然の中」にあるのではないかと思います。その自然を理解するためには、自然の中に身を置かないといけないでしょう。

私達が暮らしている地域、住んでいる人、すべてが自然の真っただ中。そんな旅の形になっていくのではないのかと想像しています。

代表理事 齋藤 元紀



地域づくり推進事業部長 より

大自然に包まれたこの地で、季節がダイナミックに変化する様を日々目の当たりにしていると、私たちの人生にもさまざまな季節=Seasonがあることに思い至ります。季節は動き、時代も地域も動いていく。そんななかで、この「動き」という言葉を聞くと頭に思い浮かぶのは、子どもたちのことです。周りの人の手を全面的に借りるところから、身体的・精神的活発さと共に環境に適応し、自立に向かって動いていく子どもたち。彼らの成長にとって大切だと私が思うのは、愛あるまなざしを注ぎ、一人一人の育ちを見守り応援する土壌=地域のコミュニティです。元々持っている彼らの成長の芽がすくすくと伸びていき、自らの課題に向き合い、乗り越え、その経験を発展的に繋ぐことができるように。

子どもに限らず、地域の大切な資源は、その時その場にいる人たちが場当たり的に対処するものではなく、動きながら関係性を変化させながら次に繋いでいくものではないのでしょうか。今私たちに求められているのは、そんなしなやかな柔軟性なのかもしれません。

地域づくり推進事業部長 セツ・マカリスト



地域の取組みインタビューにご協力いただける方を募集しています

Alps Sangakukyo Interview

アルプス山岳郷では、このエリアの価値を発掘し、地域内の魅力的な取組みを地域内外の多くの方に知っていただけたらと、2023年度も地域の取組みインタビューを続ける予定です。そこで、「こんな取り組みを取り上げてほしい!」「あの人の話をぜひ聞いてみてほしい!」ということがありましたら、ぜひ私たちに教えてください。この地域ならではの取組み(農産物の栽培、郷土文化の継承、新しいサービス、地域内での人との関わり、持続可能な地域づくりへ向けた取組みなど)について、様々なトピックを取り上げられたらと考えています。このインタビューを通し、地域の皆さんと一緒に、このエリアの価値を発掘し、たくさんの方とその価値を共有していけたらと思います。皆さんのご協力よろしくお願いいたします!



＼アルプスの感動も 日々の暮らしに

🗨️ ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください ▶▶▶ ✉️ office@alps-kanko.jp

(一社) 松本市アルプス山岳郷

〒390-1501長野県松本市安曇209-1 TEL:0263-94-2221 FAX:0263-94-2239

<https://alps-sangakukyo.jp/>

2023年3月発行

アルプス
山岳郷
ALPS SANGAKUKYO

<https://alps-sangakukyo.jp/>

アルプス山岳郷 6つの取り組みインタビュー

雄大な自然に抱かれたアルプス山岳郷。ここでは、自然の恩恵を受けながら日々の暮らしを営んでいる、魅力あふれる「人」があちこちにいます。アルプス山岳郷では、この地域の「人」と「自然」のかかわり方や、知っているようで知らなかったあんな話やこんな話、新しく始まったチャレンジなど、地域の魅力を発掘するインタビューを続けています。2022年度、アルプス山岳郷サイトに新たに掲載し6つのインタビュー記事をご紹介します。

※記事全文は各URLまたはQRコードからお読みいただけます。



11



乗鞍高原「コリビングハウス&スペース 乗鞍すもも荘」

二拠点で育む 創造的な暮らし

乗鞍すもも荘オーナー 大須田 淑恵さん

昨年、夏、乗鞍高原(宮ノ原地区)に、かつてペンションだった空き家を改装して、「コリビングハウス&スペース 乗鞍すもも荘」が生まれました。この場所は最近、山村へ移住したい方の新たな選択肢・地域交流の場として、地域内外に注目され始めています。コリビングハウス&スペースって？誰のためのどんな場所なのか？乗鞍高原で生まれ育ち、現在は東京との二拠点生活をする大須田淑恵さんに話をお聞きました。



▶▶▶ <https://alps-sangakukyo.amebaownd.com/posts/35937482>

18



奈川「製材所のパン屋」

大切な場所を 地域と共に変化しながら次につなごたい

製材所のパン屋 向井 亜紀子さん・圭子さん

林業が盛んだった奈川。その奈川で、かつて製材所だった場所に、姉妹で営むパン屋があります。「地域にとってホットする大事な場所になりたい」と語るのは、向井さん姉妹。亡き父が営んでいた製材所の木材を利用して、石窯で自慢のパンを焼く「製材所のパン屋」を訪ねました。日々奈川でパンを焼いて人と関わる向井さん姉妹は、自分達の大切なこの場所を時代と共に変化しながら未来につなごたいという思いを強くしているそうです。



▶▶▶ <https://alps-sangakukyo.amebaownd.com/posts/36552300>

19



長野銀行

持続可能な地域の未来を共につくる

長野銀行波田支店(安曇地区担当) 立岩 綾佳さん

アルプス山岳郷エリアで、古くから個人・法人事業者の方が関わりを深めてきた銀行の一つが「長野銀行」。かつては、このエリアにある山小屋へ、泊りがけの登山で通っていたこともあるそうです。そんな歴史を持つ、長野銀行波田支店の立岩さんに話をお聞きました。最近では、使用済みワインコルクの再資源化へのサポートなど、環境に配慮した取り組みにも力を入れ、地域に寄り添い伴走する金融機関として地域を支え続けています。



▶▶▶ <https://alps-sangakukyo.amebaownd.com/posts/38127307>

20



上高地「ネイチャーガイド FIVESENSE」

上高地好きになってもらうため「好き」をつなげて魅力発信

ネイチャーガイド FIVESENSE 山部 茜さん

「上高地」と言えば……？多くの方にとって何よりも強い印象として思い浮かぶのは、河童橋から見上げる穂高連峰の雄大な山岳風景ではないでしょうか。そんな中、河童橋からの風景だけではなく、奥行きのある上高地の魅力を届けようと尽力しているのが、ネイチャーガイド FIVESENSEの「さくらさん」(ガイドネーム)こと山部茜さん。上高地を深く知ってもらい、上高地好きの輪を広げられたらと活動するさくらさんに、話をお聞きました。



▶▶▶ <https://alps-sangakukyo.amebaownd.com/posts/21649493>

21



乗鞍高原「白樺コースター kamba」

一ノ瀬の原風景を守り 地域に新たな循環を生む

kamba 斉藤 真弓さん

かつては牛が放牧され牧歌的な景観が保たれていた乗鞍高原の「一ノ瀬」。しかし牛がいなくなった後、手入れをしないままになると、先駆植物のシラカバが生い茂り、のどかな景観がたちまち失われてしまうといいます。そんな状況に危機感を抱き、一ノ瀬の整備作業で出る間伐材を活用する取り組みが始まっています。「kamba」としてシラカバコースターを作成して地域に新しい循環を生もうと活動する斉藤真弓さんに話をお聞きました。



▶▶▶ <https://alps-sangakukyo.amebaownd.com/posts/40588825>

22



アルビコ交通株式会社

地域に人を呼び、支え、心が動く交通を目指して

アルビコ交通株式会社 小林 史成 社長

地域の交通を古くから支え続けている「アルビコ交通」。山岳郷エリアでは、上高地・乗鞍エリアへの観光客の送客のみならず地域住民の生活になくはならない存在として長く地域と共にあります。松本・高山ビッグブリッジ構想が動き出し、コロナ禍を経た今、地域交通の要を担う交通事業者として何を大切にし、どんな未来を見据えているのか？アルビコ交通株式会社の小林史成社長に話をお聞きました。



▶▶▶ <https://alps-sangakukyo.amebaownd.com/posts/41692324>